

団体活動取りまとめシート

	自治連合会大山口小学校区支部	地区社会福祉協議会	西部地区民生委員児童委員連絡協議会	青少年相談員連絡協議会	大山口小学校PTA
強み・自慢・売り	・経験豊富な高齢・シニア層とエネルギーと体力がある若い層が両方いる	・組織がしっかりしており、一人ひとりできる人が集まっている	・みんな協力を惜しまず頑張って活動してくれる	・メンバーが持っているものを活かし、長年継続して実施してきた活動実績	・子どもを持つ集まりという共通項 ・子どもの卒業とともに会員が循環していく
組織	7自治会で構成 支部長、副支部長、会計、監事、書記、等	推進委員 41人 (個人・民児協・自治会・小学校PTA、小学校、社協・高齢者クラブ) 50歳代～70歳代が中心 ボランティア 73人 会長1名、副会長2名、会計、庶務、広報、ほか 活動体制…定例推進委員会(年7回) イベント毎に事業運営グループをつくり、企画・推進	西部地区全体で定数 25人(大小区定数 10人 [内訳]民生委員9人、主任児童委員1人で1名欠員 任期:3年 次期から大小区定数 12名に増	31人(第20期青少年相談員)のうち、大山口小学校区は4名 任期:3年間 年齢層 20歳代～50歳代	492(世帯数)+教職員 会長、副会長、会計、会計監査 本部役員会の下に、学級委員会、校外委員会、選考委員会、サポート委員会、運動会委員会があり、地域との接点は校外委員会が中心
活動の主な収支 (1000円未満切捨)	[主な収入]補助金 369,000円 [主な支出]夏祭り 270,000円、防災訓練 102,000円 ほか	[主な収入]助成金 515,000円 事業収入 9,000円 [主な支出]食事会(弁当代が中心)250,000円、ふれあいスポーツ 130,000円、ほのぼの会 37,000円、メンズクッキングタイム 26,000円	西部地区全体の収支 [主な収入]活動費 40,000円(民生委員児童委員連絡協議会から) [主な支出]西部地区総会 44,000円	[主な収入]地区活動助成金 35,000円、参加費 62,500円 [主な支出]食糧費 38,000円、雑費 27,000円(貸し布団)、消耗品費 10,000円、役務費 9,000円(保険代)など	[主な収入]会費(年3,600円) 1,877,000円など [主な支出]教育奨励金 420,000円、予備費 375,000円、運営費 297,000円、行事費 267,000円、補助金 187,000円 ほか
主な事業 ①事業名称 ②目的・内容等 ③参加者 ④運営・協力体制 ⑤課題・将来展望	①大山口小学校区合同夏祭り ② 8月開催、大小校庭・体育館 子ども神輿、大中吹奏楽部演奏、太鼓、踊り、花火、抽選会ほか、大中ボランティア部の参加 ③ 参加者数:5,000人弱 ④ 5自治会、地区社協、大小、大中、大中ボランティア部、地域の団体・グループ ⑤ 課題:全自治会の参加に至っていない(2自治会は独自に祭り開催) 将来展望:プログラムの更なる魅力づけ、最後まで楽しめるお祭り ①防災訓練 ② 2月開催、大小体育館・校庭 自治会毎の安否確認、合同避難所運営訓練(避難所の安全確認、避難所運営本部設置、通路設定、照明装置、仮設トイレ設置、防災井戸開設、火起こし体験、起震車体験、炊き出し) ③ 自治会 200名 ④ 自治会 ⑤ 課題:参加者の減少 将来展望:若い人も参加する防災訓練の魅力づけ、防災訓練を牽引するリーダーづくり	①お元気ですかコール ② 75歳以上の一人暮らしの方(必要な方へはたきかけ民生委員に申し出た人) 月2回電話 ③ 7人 ④ 社協事務員が電話、民生委員の協力 ⑤ 登録者少数だが、高齢化の進行を考えると必要な取り組みで今後も継続 ①ふれあい・支え合い食事会 ② 高齢者が食事や子どもたちとのふれあいをとおして楽しく過ごせる機会をつくる ③ 290人(対象者を71歳から72歳へ変更) ④ 協力:大中ボランティア部 大小プラスバンド部、大小4年生(自由参加制) ⑤ これ以上参加者が増えると運営困難になるが、参加したい人が参加できる会にしたい。 ①ほのぼの会 ② 高齢者が身近な場所でお茶を飲みながら楽しめる地域の憩いの場(サロン)をつくる、月1回開催(1月、8月除く) ③ 212人(10回延べ) ④ 運営:地区社協、協力:自治会 ⑤ 地域内の類似サロンとの住み分けや連携 ①ふれあいスポーツ ② ペタンク等のスポーツを通じて世代間交流や家族交流を図る ③ 125人 ④ 運営:地区社協、協力:大中ボランティア部(40人位)が審判・会場づくり、大小がチラン配布 ⑤ 課題:高齢者より子どもの参加割合が増加 ①メンズクッキングタイム ② 一人でも困らずに料理ができるきっかけづくり ③ 32名 ④ 推進員の女性 ⑤ 喜ばれておりこのまま継続	生活上の困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、必要な支援を受けられるよう専門機関へつなぐ役割を担っている ①地域への訪問(見守り)活動 ①心配事相談の相談員 (年3～4回程度) ①学校訪問 大小、大中、第三小から子どもの情報を得る。 ①米寿のお祝い品の配達 ①地区社会福祉協議会、各種地域活動・イベントへの参加 ・地区社会福祉協議会にて地域福祉活動を推進。 ・楽トレ体操(毎月曜)、ラジオ体操(毎日)、餅つき大会、花咲かせたい隊(月2回)に参加し、コミュニケーションをとりながら情報を得たり、民生委員の周知活動をおこなっている。 ④ 協力:自治会、地区社会福祉協議会 ⑤ 他の団体との関わりをどうつくっていくか(高齢者クラブ、コラポ白井、自主防災会等)	①西白井地区通学合宿 ② 子どもたちが地域を知り、地域を愛そうとするきっかけをつくる 小学5、6年生 25名 9月(2泊3日) ・自分たちが献立作り、買い物、調理を行う ・地域の協力による「もらい湯」を経験する ・センターに宿泊し、小学校に通学する ③ 25名 ④ 大山口、清水口、七次台小学校区の青少年相談員の運営、青少年相談員OB/OG、知人の協力 ⑤ 運営・協力ボランティアの確保、参加者の確保、人材を確保し継続的に安定した事業を展開したい	①危険個所マップアンケート ② 地域の防犯、交通安全上の危険個所を情報収集するため、会員にアンケートを実施し、集まった情報を集約したマップを作成する ③④ 校外委員会 ①夏季パトロール ② 夏休み期間中、毎日登校時間帯に地区内に指定した26か所のポイントの中で自宅に近い所で保護者が自由に見守りを行う(一人3日間程) ③④ 校外委員会 ⑤ ・住宅開発、交通量の増加などにより、車の抜け道が増えつつある ・見守り実施状況の詳細は未把握 ・以前は町内会(自治会)毎に校外委員を選抜していたが、クラス毎の選抜に変更したため、校外委員会の地区バランスが崩れ、地区密着度が低下している ①子ども110番・パトロールシート配布 ② 子ども110番の協力者を募ったり、継続依頼を行い、子ども110番の腕章やシートを配布・回収する ③④ 校外委員会 ⑤ 協力者の維持・確保 地区社会福祉協議会の会議や事業への参加等
団体の課題 ①人、②もの、③お金、④その他	① 1年交代が多く活動が積みあがらない、引継ぎが不十分 ④ 小学校区内の地域差が大きく二極化しておりうまく融合できていない	② 拠点施設の拡大	① なり手がいない 若い人に存在を知ってもらいなってもらいたい。 ① 必要な人に声をかけてもらいやすい存在になればいい	① 人材の確保 ・仕事等が多忙で会議や活動に参加できない相談員が多く、若くて子ども・世話好きな人がほしい ・ボランティアは毎回個人のネットワークで協力要請しているが、安定的に確保したい ・参加者が増えない傾向がある	① なり手の確保 ・生活スタイルが多様で難しい
団体の将来展望	・経験、知識、若さが融合できる雰囲気をつくり、融合した活動が推進できればいい	・教室を拡大し常設サロンの開催(本を置いて一人でも気軽に来れる環境) ・福祉に特化した防災活動	・防災、児童(子育て支援)、高齢者、健康のテーマが重要となるのではないかと	・色々な人が持つ知識や能力をいかし活動を充実させたい。まずは青少年相談員の名前、存在を地域に知ってもらうことから始めたい	・無理がなく取り組めるPTA活動
団体活動を通して感じる地域課題	・行動力のある若いリーダーがいない ・地域活動で効率的・効果的な会議が不十分	・高齢化による空き家の増加	・高齢化 ・外で遊ぶ子どもが少ない ・子ども達の情報が把握しづらい	・子どもたちのコミュニケーション力の不足 ➡挨拶の習慣づけが必要	・地域間の温度差が大きい(生活スタイル、考え方) ・地域が変化するスピードにまちづくりが対応できていない、リーダーが必要

	大山口中学校PTA	高齢者クラブ大松長寿会	高齢者クラブ大山口大寿会	ふれあい大松	NPO法人まちづくり西白井
強み・自慢・売り	・若さと活気、本部役員のコミュニケーション	・会員同士は友好的、協力的	・ざっくばらんな関係と雰囲気	・頼めば来てくれる、やってくれる協力的な関係(スタッフ及び参加者を含め)	・メンバーそれぞれに専門性や多彩な経験・技能を持ち合わせている
組織	662(世帯数+教職員) 本部役員会の下に、学級部会、環境整備部会、校外指導部会、役員選考部会があり、地域との接点は校外指導部会(16人)が中心	会員:61人(微増傾向) 70~90歳代中心 男24人、女37人 役員:会長1人、副会長3人の他会計、監査全体で4班体制、役員が各班の班長兼務 班長の役割は回覧、参加者の取りまとめ	会員:72人 80歳以上が多い 役員:会長、副会長、会計、会計監査、幹事	会員:15人(減少傾向)70歳代中心、男2人、女13人 団体創設から8年 役員:会長、副会長1人ずつ 任期はなし	会員:14名 役員:7名 理事長1名、副理事長1名、監事1名 ほか
活動の主な収支 (1000円未満切捨)	[主な収入]会費(年 4,200円) 2,826,000円など [主な支出]学校活動費(課外活動振興費、備品購等購入費、学校整備協力費など) 1,400,000円 ほか	[主な収入]市補助金 80,000円、年会費 140,000円(年会費2,400円) など [主な支出]事業費(定例親睦会)130,000円、雑費 20,000円、慶弔費 20,000円、分担金(白井高連年会費)17,000円、会議費、事務費など	[主な収入]市補助金 90,000円、町会補助金 80,000円、年会費 36,000円(500円×72人)など [主な支出]行事費 61,000円、月例会費 32,000円、行事保険料 28,000円、備品購入費 21,000円、市高齢者連合分担金年会費 18,000円、クラブ活動費 11,000円ほか	<ふれあい大松サロン> [主な収入]参加費(1回一人100円)、助成金(ボランティア連絡協議会から)30,000円 など [主な支出]ふれあい大松&サロン 113,000円、謝礼 23,000円、事務費 21,000円 など <健康体操教室> [主な収入]参加費(1回一人300円)、年会費 など [主な支出]講師謝礼 280,000円 など	[主な収入]会費 52,000円、事業収益 120,000円 [主な支出]事業費 40,000円、管理費 50,000円
主な事業 ①事業名称 ②目的・内容等 ③参加者 ④運営・協力体制 ⑤課題・将来展望	①大山口中学校校区通学路状況観察 ② 保護者が通学路の危険個所に立ち、登下校時に見守りながら、危険個所を理解する(年1回) ③④ 大山口中学校 PTA(校外指導部会) ⑤ 特になし ①大山口中学校校区三校合同パトロール ② 下校時間に青色パトロールカーにて大山口小学校校区、第三小学校校区のパトロールを行う(年1回) ③④ 大山口中学校 PTA(校外指導部会)、大山口小学校 PTA、第三小学校 PTA ⑤ 特になし ①大山口中学校校区こども110番会議 ② 通学路の交通安全の危険個所を確認の上、情報を取りまとめ、市P連を通じ、市に改善のための要望書を提出する ③④ 大山口中学校 PTA(校外指導部会)、大小PTA、三小PTA ⑤ 特になし ①夏期パトロール集計 ② 防犯の危険個所を把握するため、夏休み中に保護者アンケートを行い、結果を取りまとめる ③④ 大山口中学校 PTA(校外指導部会) ⑤ 特になし 他に、PTA 美化作業手伝い、大山口小学校区夏祭りへの出店、有価物回収、大山口中学校区なかよし杯バレーボール大会を実施	①定例親睦会 ② 地域高齢者の集い・ふれあい・交流 大松集会所(1時間100円)にて年6回開催(10時~12時) 昼食提供(年3回)の時は11時~14時 内容:梨トレ体操、ゲーム・歌・脳トレ・トランプなど、お茶会 ③ 原則、大松地区在住 60歳以上 毎回40人程参加 ④ 会で運営、ふれあい大松(会員多数加入、運営のノウハウの提供)、自治会(年1回回覧で入会勧誘、集会所の借用)の協力 ⑤ 全会員の参加が難しい(理由:病院、他サークルへの参加)が、全員参加でバス等にて外出したい	①月例会 ② 高齢者同士が普段着感覚で顔をあわせ、サロニックにコミュニケーションを図る機会をつくる 毎月1回、大山口二丁目集会所にて開催 内容:花見、なるほど行政講座、三味線演奏、日舞、朗読、バイオリン演奏、絵手紙ほか ③ 毎回20人~30人程度 ④ 役員で企画・運営 ⑤ 70歳代の新規会員の勧誘 他に、だべろう会、パソコン、スマホ、将棋、囲碁、麻雀などのクラブあり	①ふれあい大松サロン ② 地域のきずなづくり、ふれあいなど 大松集会所にて毎月第2、第4月曜(13時~15時)、参加費:1回100円 内容:講演会、トランプ、手遊び、お茶会など(医師の話が人気あり) ③ 原則、大松地区在住高齢者(若い人の参加可) 毎回40人(役員含む)程参加 ④ 会員15名が中心に運営、自治会(チラシ用紙代、印刷代の負担、会場の無償提供)の協力 ⑤ 企画のマンネリ化、参加者の固定化の傾向があり、人材(PC操作、会計、ネットワークがある人など)の確保、若い人たちの参加を得たい ①ふれあい大松健康体操教室 ② 体力づくり 大松集会所にて毎週火曜(14時~15時) 参加費:1回300円 ③ 原則、大松地区在住者、毎回20~30人参加 ④ スタッフの中での健康体操担当者3名が運営、自治会(会場の無償提供)の協力 ⑤ 大松住民の参加が半数強のため、地区内の参加者を増やしたい	①清掃活動 ② 美化活動の一環として白井市との協定により富塚公園の清掃活動を実施 月2回 ③ 毎回会員10人程度 ④ 法人で実施 ⑤ 現在の課題はないが、清掃活動の拡大(西白井駅からいまでのエリアの公園)が今後の検討課題 ①交通安全活動 ② 千葉県交通安全推進隊に加入し、小学校登校時の交通安全活動を実施 月3回 7時10分~25分まで ③ 毎回会員3人程度 ④ 法人で実施 ⑤ 現在の課題はないが、活動人数と活動頻度を増やしたい ①ラジオ体操 ② 夏休みに入った1週間、子どもたちを対象に朝のラジオ体操を実施し、最後に文房具を渡している(最後の1週間は自治会がラジオ体操を実施) ③ 毎回子ども40人、保護者20人程が参加 ④ 法人で運営 ⑤ 課題等は特になし ホームページを開設し、常時、会員を募集している
団体の課題 ①人、②もの、③お金、④その他	① 未加入者をなくす、活動の担い手の確保	② 参加者増で会場が手狭になる	① 70歳代の新規会員の勧誘 積極的に呼び込むか?自治会で迎え入れるか?	① スタッフの高齢化・若返り、参加者の固定化	④ 地域への法人の認知度の向上
団体の将来展望	・子ども110番協力者の継続と新たな協力者の発掘⇒PTA以外の住民に協力依頼できれば助かる ・花壇の花植え、管理は環境整備部(21人)で実施⇒地域に水やり協力者がいると助かる ・地域での安全情報(不審者等)の情報共有	・加入促進し会員を増やす。ただし増えすぎると運営が困難となる ・みんなで外に出かけたい ・色々な人材(市職員や住民の中で得意分野のある人)をもっと活用していきたい	・ざっくばらんな関係と雰囲気を大切に、普段着感覚でコミュニケーションを図る機会を継続してつっていく	・地区の団体間との横のつながり、情報交換・交流を深めたい ・内容の工夫によるマンネリ化を防ぎたい ・地域の若い人を取り入れた活動をしたい	未来を見据え時代や社会の変化に柔軟に対応したまちづくり活動 ・人口構成やニーズに対応した事業 ・白井市の課題に基づく事業 ・子どもやその親を対象としたイベント
団体活動を通して感じる地域課題	・子どもの健全育成を阻害する目に見えない、親が知らない危険が増えている	・高齢化が進行し、同じ高齢者でも元気に参加する人、参加しない人と差がある	・高齢化が進行し頑固な人が増える傾向がある	・高齢者が自分を高齢者と自覚していないためか、参加者が増えない、活動に関心を持ってもらえない	・西白井地区の地域内のつながりが弱い(特に男性)

